



ドクターTのひとりごと その65

私が選んだ平成29年舞鶴市10大ニュース

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、平成29年の本市10大ニュースを発表します。ニュースの選び方は昨年と同様、市役所の12部課において、それぞれの担当部署での重大ニュースを選定し、集められた108のニュース(重複含む)から、舞鶴市10大ニュースを選びました。多くの事業や出来事があり、10件を選ぶのに苦労しました。その結果、①台風18号、21号により市内各地に甚大な被害 ②秋篠宮同妃両殿下お成り(引揚記念館ご視察) ③地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰④京都舞鶴港コンテナ取扱貨物量、クルーズ客船入港過去最高⑤都市計画(区域区分)見直しに着手⑥日本の20世紀遺産20選に舞鶴の海軍施設と都市計画が選出⑦アイコム 京都大会の舞鶴ミーティング2018開催決定⑧海上自衛隊舞鶴所在部隊隊員とその家族に関する総合支援協定締結⑨京都府北部地域連携都市圏のビジョン作成⑩山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会の設置、となりました。

平成29年度は、関係機関と連携しながらこれまで地道に取り組んできたことが実を結んできた年であるといえます。京都舞鶴港が「京都の海」の玄関口として注目され、産業、人・物流が大きく拡大しました。また、ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子どもを育てるため続けてきた市内の小・中学生への講演では、子ども達の舞鶴に対する思いが少しずつ変わり始めているのを実感しているところです。

しかし相次いで本市を襲った2つの台風は大きな被害をもたらし、本市の農水産業も大きな打撃を受けましたが、こんな時にこそオール舞鶴で力を合わせ、知恵を絞って進まなければなりません。地域や関係機関との連携を強め、舞鶴版地方創生をさらに推進することで、来年も素晴らしい10大ニュースを報告したいと思っています。



図書館だより

今月のおすすめ本

歴メシ!世界の歴史料理を おいしく食べる

遠藤雅司

歴史上の人物の文献をもとに当時の料理を再現。世界最古のパン、中世のシチューなど40品のレシピを収録。粗食を心掛けていたダ・ヴィンチの食事とは? マリー・アントワネットが舌鼓を打ったマドレーヌとは? 読んで、作って、食べて楽しい歴史エッセイ。



(西)

地域ブランドのつくり方と働き方 世出版社

地域独自の食や文化、伝統工芸などを生かした各地の取り組みの中から、成功事例を34件紹介。その1例に「舞鶴赤れんがパークの来場者は、なぜ5倍に増えたのか」の見出しで本市がとりあげられています。赤れんがパークの魅力を語る市民の声も掲載。



(東)

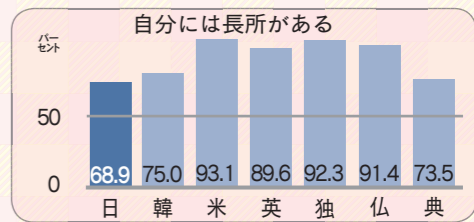
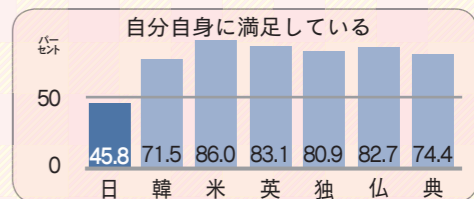
▶詳しくは、東図書館(☎62・0190)
西図書館(☎75・5406)へ。

「その一言」の大切な役割

わが子が初めてのテストで90点を取り「見て、見て」とテストを見せます。その時、あなたならどう声を掛けますか。「がんばったね。もうちょっとで100点だったのに」でしょうか、それとも「すごいね。がんばっていたものね」でしょうか。

似たような言葉ですが、両者には、明らかに「差」があります。前者のように「もうちょっと」と言われると、足りない10点の方を指摘され、がんばりが足りなかったと言われてるように感じます。一方、後者は「よくがんばっていたものね」と90点を取れた過程を認め、褒められていると感じます。この子は、90点を取ったことを褒めてもらいたくて誇らしげにテストを見せたはずなのです。この例に限らず、私たちは、日常生活において子どものやる気を喪失させる言葉を使いがちです。「さっさと起きなさい」「早く宿題をしなさい」など「〇〇なさい」と子どもがアクションを起こす前に言っていることはありませんか。子どもは「せつかくやろうと思っていたのに」と感じます。できていないことばかりを指摘され、毎日このような言葉をシャワーのように浴びせられる子どもの気持ちを考えたことはありますか。

日本を含めた7か国の13~29歳の若者を対象とした「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成25年度)」(内閣府)によると、日本の若者が自分自身に満足



している割合は45.8%、自分には長所があると思う割合は68.9%と7か国中最下位で、自己を肯定的に捉えている若者の割合が低いことが分かります。これほど自分に自信のない若者が多い原因の一つは、私たちが何気なく掛けている一言にあるのかもしれない。

どの子も未知なる可能性を秘めています。その可能性を引き出す努力をするのは、もちろん本人ですが、引き出すきっかけを作ってあげるのは、親や周りの大人の責務ではないでしょうか。若者の自己肯定感を高めるのに、あなたのその一言が大切な役割を担っていることを忘れないください。人はいくつになっても、褒められたり、評価されるとやっぱりうれしいものです。《人権啓発推進室》

未来への新たな一歩 ~舞鶴引揚記念館開館30周年~

引揚記念館は今年開館30周年を迎えます。歴史を振り返るとともに、次世代へ語り継ぐ取り組みを紹介します。

◆語り部~体験者から次世代へのバトン~

引揚記念館は昭和63年4月24日に開館後、予想以上の人であふれ返り、好調なスタートとなりました。しかし、開館がゴールではなく、やっとの思いでできた館が恒久的に続くよう支援しようと、開館まで支えてきた体験者が中心となり、平成元年8月15日に「引き揚げを記念する舞鶴引揚全国友の会」が発足しました。その後、舞鶴の会員を中心に来館者への語り部活動も始まりました。当時、舞鶴支部長だった神原斎さん(93歳)は「伝えたいという一念で一生涯懸命やっていたが徐々に会員も高齢となって、館に行くことができなくなっていった」といいます。平均年齢が80歳を過ぎた平成9年頃になると、館内の語り部活動も難しくなっていました。

市では、新しい語り部を養成するため平成16年に初めて「語り部養成講座」を開講。子どものころに引き揚げてきた体験者や舞鶴で迎えた経験者などが参加し、修了生によって語り部活動が再

開され、「舞鶴・引揚語りの会」としてNPO法人になるなど活発な活動につながりました。しかし、時が経ち史実の風化と共に養成講座も中断。語り部が減少し再び語り部活動の存続に大きな試練が訪れました。しかし、平成27年のユネスコ世界記憶遺産登録を契機に、6年ぶりに養成講座を再開。それから2年、多くの受講があり、平成28年度には初めて中学生の参加もありました。「難しい言葉でなく自分たちの言葉で分かりやすく若い世代に伝えたい」と次世代の語り部として活動を始めています。

2度の危機を乗り越えた今、館内では10代から90代まで幅広い世代の語り部が活動し、展示資料に込められた史実や平和への思いが未来へと着実に語り継がれています。



▲語り部活動の様子

《引揚記念館》

簡単レシピで手軽にヘルシー まいるレシピ帖 VOL.19

お正月になぜお餅を食べるのか知っていますか。起源は平安時代にさかのぼり、健康と長寿を祈念して行われた正月行事「歯固めの儀」に由来します。長くのびて切れないことから長寿を願う意味も含まれています。餅は晴れの日に神様に捧げる神聖な食べ物だったという諸説もあります。

もちろん知ってましたよね?餅だけに…

【協力】谷口久美子(食生活指導士)

- ◇材料 4人分
- ◇ダイコン(1センチ厚さ) …4枚
 - ◇ニンジン(1センチ厚さ) …4枚
 - ◇木綿豆腐…120グラム
 - ◇丸餅…4個(200グラム)
 - ◇サト芋…120グラム
 - ◇かまぼこ(5センチ厚さ) …4枚
 - ◇白みそ…120グラム
 - ◇だし汁…4カップ
 - ◇三つ葉…少々
 - ◇ユズ…少々



1人分 248kcal 塩分2.1g

作り方

- ①ダイコンとニンジンは梅花切りに、サト芋は皮をむいて6角の飾り切りにし、全て下ゆでをする。木綿豆腐は3センチ角に切る。かまぼこは5センチ厚さの結び切り、三つ葉はサッと熱湯を通し2本ずつで結ぶ。ユズの皮を細く切る。
- ②耐熱容器に丸餅を並べ入れ、水を20ccほど餅の上からかけて電子レンジで2分ほど形を崩さないように見ながら加熱する(レンジによって時間が異なるので注意)。
- ③鍋にだし汁と豆腐を加え、中火で一煮立ちさせ、①のダイコン、ニンジン、サト芋を加えたあとに白みそを溶き入れ、②の餅とかまぼこを加えて温まる程度で火を止める。器に彩り良く盛り、三つ葉とユズの松葉切りを添える。